



コーディネーターの西元法子です。創刊号はいかがでしたか？皆さまに通訳者、医療通訳について興味を持っていただけるようお便りしてます。「通訳者ってどんな人？」「日本語は話せる？」と時折質問がありますが、当社の日本人通訳者は全体の7割、外国人が3割。もちろん日本語は完璧です。一見シャイに見えてもおしゃべり好きで話題が豊富な人が多いです。たくさん楽しい話をお届けできるようガンバりますので、周りの方々と一緒に読んでいただけたらうれしいです。

Medi-Way 医療通訳者紹介 Vol.2 英語担当 本田さん

◆なぜ医療通訳者になった？

医療通訳コースを受講したきっかけは、たまたま見たTV番組です。受講していた頃、中高生の時に英会話を習っていたアメリカ人の先生が80歳を過ぎて帰国されることになりました。どうして今さら？とお話を伺うと「日本にいたい理由の方が多いの。でも、将来認知症になって日本語を忘れるかもしれない。英語しか話せなくなって病気になったら困るでしょ？」と。医療通訳は大切な仕事だと認識できた出来事でした。



◆今まで医療通訳に携わってきて一番嬉しかったことは？

対面通訳では患者さんや医療者の方から直接「ありがとう」や次回通訳に入った時に「今日も通訳してくれるの？よかった！」と笑顔で言ってくれる事があり、やりがいを感じます。遠隔通訳は個人的な接触は少ないですが、不安な表情が少し安心に変わった瞬間はホッとします。また、医療者の方から「今日は助かった」と言ってもらえると次も頑張ろうという励みになります。

◆より良い通訳をするために心掛けていることは？

日々、勉強だと思っていますが、医療は勉強することが山積みで「覚えては忘れる」の繰り返しです。その中で少しずつ経験を積みながらスキルを上げています。好きな英語でお仕事が出来て、誰かに喜んで頂けるのは有難いことなので、これからも患者さんにわかりやすい通訳、医療者の方から信頼される通訳が出来るよう、記憶力の衰えと闘いながら精進していきます!!

今月のトピックス



残暑が続き、疲れがたまる時ですね。

通訳者の出身国では、驚くことに“夏バテ”という概念がない国が多いです。そこで今回は夏バテに効果的な食生活を紹介します。

南米の夏は暑いですが毎日お肉を食べたり、暖かいマテ茶を飲むからか夏バテはなく、にんにくやトウガラシが欠かせないということも元気の源◎ベトナムでは、なんといってもカインチュア（すっぱいスープ）。出汁には肉や魚、味付けは酢・米麴・すっぱいフルーツ、野菜・香草が入っており、栄養バランスもばっちりです。中国は、緑豆や熱い菊花茶、緑茶を飲んだり、中でも羊の串焼きとビールは無敵！のようです。

どの国でも共通の意見は「日本人みたいに頑張るすぎない！」でした。このトピックスで一息ついていただけたでしょうか？

ちょっと一言 それって何て言うの？

「熱中症に気を付けてくださいね。」

英語「Please watch out for heat stroke.」

中国語「请注意不要中暑哦。」(チンチュウイー プーヤオ チンシュウオ)

ベトナム語「Xin hãy cẩn thận để tránh bị say nóng nhé!」
(シンハイ カンタンデー チェインビィサイノンネー)

スペイン語「Tenga cuidado con el golpe de calor.」
(テカ カイダト コソルゴルペ デ カール)

ポルトガル語「Tome cuidado com a hipertermia.」
(トメカイダト コア イペルテルミア)

